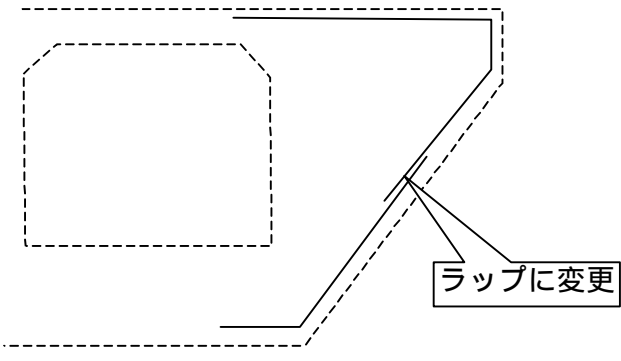


## 配筋図の不都合事例

No.	投稿者	事例	対処の内容	備考(くぼじま)
1	hさん	函渠の配筋図 断面・・・6100*7500 L=60m 鉄筋の加工長が15mを超えていた。	材料を標準品の12m以下とし、配筋図、加工図 鉄筋表等を協議の上変更した。	15mとはまたびっくり
2	hさん	ウィングの主筋(D16)が一本での加工と なっていたが、固定出来ない。	底版(H=1m)打設後にラップすることとし、 配筋図、加工図、鉄筋表等を変更した。 	こういうのはよくあるん でしょうね。  現場を知らないと わかんないですね。
3	hさん	橋脚の配筋図 支承のアンカーに主筋(D32)が当る。	配筋図、加工図等をすべて差換えることとなった。	そんなことあり？
4	hさん	土留工の切梁、中間杭等と鉄筋の関係 がまったく考慮してないため、施工不能 の図面となっていた。	最終的に土留の計画をいちから見直すこととなり、 着工までに3ヶ月かかった。	別々の人がやるから ねえ。この辺はなくなら ないかも？
5	hさん	その他全般 配筋図の寸法表示ミス。 加工図の寸法表示ミス。 鉄筋表の計算ミス、表示ミス。		実施設計の最後の作業 だからチェック不足は ありがち？
6	hさん	近年PCの使用の影響なのかこれらのミスが、 非常に多くなっており、われわれが変更、 書き換えをしないで施工できるケースが あまりないのが現状です。		施工サイドのサービス 業務が増えるばかり でしょうか？
7	くぼじま	立たない鉄筋 昔、底盤から直接D19くらいの鉄筋を5r ほど直に立ち上げる配筋図を書いたら先輩 から怒られた。	No.2と同じことだと思う。 ラップさせたり、単管パイプで固定して埋殺したり。 現場ではよくあることのように。	配筋図も現場経験が ないと難しいよね。